

09年度DTM講座 第一回

2年 ニコライ

DTMとは

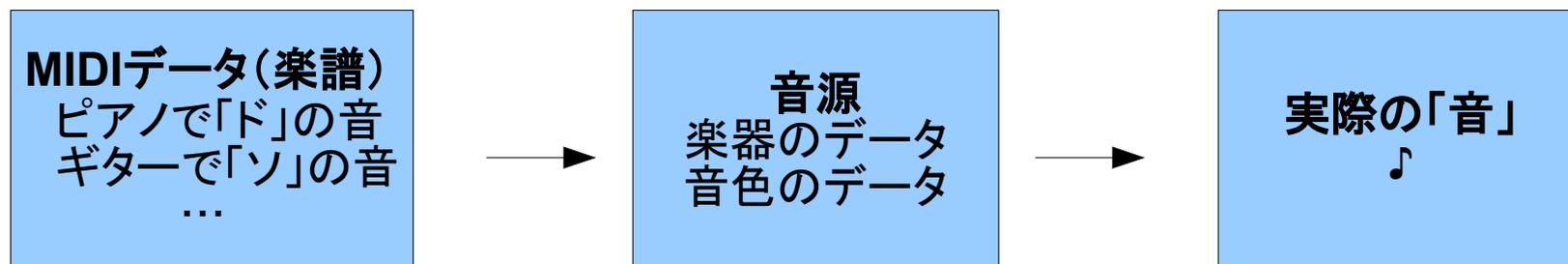
- DeskTop Music の略
パソコン上で音楽を作ることを指す
- 楽器で演奏したものをPCに取り込んで
PC上で編集することも広義にはDTMだが、
本講座では扱わない
⇒よって楽器ができなくてもOK！

PCで音楽を作る

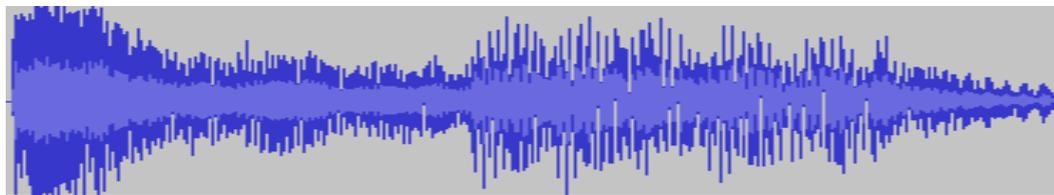
- DTMは敷居が高いと思われがちだが、
DTMに最低限必要なものを揃えるだけならタダ
 - 必要なもの
 - ① PCで演奏するための「音源」
 - ② PCで音を出す為の「オーディオ端子」
 - ③ PCで音楽を作るための「シーケンサ」
- 普通のPCなら上二つは最初から揃っている

MIDIとMP3(波形データ)の違い

- MIDI(ミディ)は「楽譜」のデータ
音源がないと音が出ない



- MP3やWAVは「音」そのもの(波形)のデータ



波形のデータの方がデータ量が桁違いに多い

MIDI音源を使って音楽を作る

- 波形自体を編集して音楽を作るのは至難の業
⇒MIDI楽譜を編集して音楽を作る
- 楽譜を編集するソフト(シーケンサ)が必要
⇒無料ソフト「Domino」を使う
- MIDI音源はWindows標準の
Microsoft GS Wavetable SW Synthを使う
スーパーで流れるBGMっぽい音

Dominoの使い方

設定ファイル込みで配布します。

- 実際の楽譜を作るわけではなく、
視覚的に音符のデータが見られるような形式になっている(「ピアノロール」という)
- 音符(「ノート」という)を置いてみよう(打ちこみ)
- 打ち込んだ音が鳴るか試してみよう
- ノートの長さや位置を変えてみよう
- 「ドレミファソラシド」をピアノロールで打ち込んでみよう

トラックと音色

- 勿論ピアノの音だけではなく、色々な音色が出せる
⇒音色を「オルガン」に変えてみよう
- 更に、トラックごとに複数の音色を出す事が可能
⇒トラック1で「オルガン」の音を
トラック2で「ベース」の音を鳴らしてみよう
- トラック10は「ドラム」を扱うトラック

その他

- 「ベロシティ」を変えることで「音の強さ」を設定できる
↑ ※あくまで「強さ」であり、「大きさ」では無いので注意
- 音の大きさを変えるには、Volumeを変える
- 曲のテンポを変えるにはトラック0の「Tempo」を変える
- その他、PanpotやらModulationやら
Pitch BendやらHoldやら、色々弄ってみるといいです
(時間があれば解説します)